



第3号

新米町長の奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～
【明るい話題が続いて…吉事（よきこと）】

寿一月二十日（金）陽光園に入居されている花田キサ（大正四年十一月二十日）さんが満百歳の誕生日を迎えられ、町から長寿の記念品を贈らせていただきました。

当日は、東京方面にいるお子さんたちも駆けつけて、お母さんにお祝いの花束を贈るなど、和やかな中で花田さんは笑顔であいさつをしております。

十一月二十六日（木）に北海道日本ハムファイターズの応援大使の飯山裕志内野手と谷口雄也外野手の二人が当町を訪れました。

町長室で表敬訪問を受け、大きなサインボールを寄贈いただきました。

また、当日は、福島小学校の生徒たちとキャッチボールなどを楽しむなどしていただきました。

一般を対象とした「交流イベント」では、抽選会でユニホームが当たるなど、生のプロ野球選手

と触れ合い町民の方々は、楽しいひと時を過ごしております。

十一月二十九日（日）に福島吉岡野球スポーツ少年団結成四十周年祝賀会に参加させていただきました。

子供たちの数が年々減少する中で、組織の維持も大変な時代ですが、指導者や保護者の方々に感謝です。

当日は、アトラクションで横綱太鼓や吹奏楽団の演奏もあり、特に吹奏楽の野球応援メドレーでは、甲子園並みの応援エールで会場は大盛り上がりで、アンコールがかかるなど、華やかで楽しい祝賀会となりました。

十二月六日（日）は、昭和五十年から十三年間、福島中学校で陸上の指導をされた岡部寿一氏が公益法人日本陸上競技連盟の功労章を受章され、ホテル函館ロイヤルで行われた記念祝賀会では、北斗市長などのご臨

席をいただき、盛大に行われました。

当町からも当時の教え子などが参加し、昔話に花が咲いていました。

全国町村長大会が十一月十八日（水）に東京渋谷のNHKホールで全国九二八の町村長が一堂に会して開催されました。

当日は、高市早苗総務大臣、石破茂地方創生担当大臣、谷垣禎一自由民主党幹事長及び大島理森衆議院議長など、約千三百名が参加いたしました。

大会は、棚野孝夫副会長（北海道白糠町長）の司会で進められ、はじめに藤原忠彦全国町村会会長（長野県上川村長）があいさつに立ち、「安倍内閣が進めている地方創生を日本創生につなげていけるよう、全力で取り組んでいく。また、大筋合意したTPP協定が、中山間地域の農業に深刻な打撃を与えるのではないかと懸念しており、最重要課題として今後対

席をいただき、盛大に行われました。

応していく。誇りある地域づくりのために、困難な課題に積極的に取り組んでいこう」と参加者に訴えておりました。

私は初めての参加でしたが、東日本大震災から四年八か月余りが経過しておりますが、発生からこれまで「集中復興期間」として、特例的な財政支援が講じられてきました。

しかし、原発事故の影響を受けた地域では、復旧・復興事業が進展していかないなど、依然として厳しい状況にあります。

「新しき 年の初めの初春の 今日降る雪のいや重け吉事」・・・元日で立春の今日は、雪が降り積もるようによいよ重なれ、よきこと・・・「万葉集」にて大伴家持が詠むように、福島町も素晴らしい一年のスタートとなることをご祈念いたします。